

R32冷媒の •ビル用マルチエアコン •店舗用PAC (一部※¹) をご使用いただく方へ



※1: JRA GL-16適用の店舗用PAC (冷凍トン3〜5トン未満) の床置形室内機で漏えい検知器搭載機種が対象。

JRA 4068に基づき **定期的な漏えい検知器の交換** および
JRA GL-16に基づき **1年に1回以上の回路検査** ※² が**必要**です



※2: 回路検査はビル用マルチエアコンR32冷媒使用機種が対象。

ただし、JRA GL-16、メーカーの安全対策要否を確認の上、大空間で安全対策装置の設置が不要な場合を除く。

★漏えい検知器の交換、回路検査は
機器管理者様の遵守事項です。
計画的なご準備をお願いします。

JRA GL-16では、**機器管理者**を以下のとおり定義しております。

空調システム及びそれに関わる安全対策装置の所有者、又は空調システム及びそれに関わる安全対策装置の点検・保守・修理、及び維持管理・修繕の責務を実施するために所有者が選任した者
注釈1 点検保守業者に点検・保守・修理を委託した場合でも、最終責任者は管理者が負う。

したがって、**本内容は、対象となる空調機の資産所有者の遵守事項となります。**

例えばビルテナント様が空調機を使用される場合においては、ご使用になる空調機の資産所有者によって遵守すべき対象者が異なってきます。契約関係もふまえ、ご確認ください。

JRA 4068 JRA GL-16 とは……

JRA 4068: 日本冷凍空調工業会規格『冷凍空調機器に関する冷媒漏えい検知警報器要求事項』

JRA GL-16: 日本冷凍空調工業会ガイドライン『微燃性 (A2L) 冷媒を使用した業務用エアコンの冷媒漏えい時の安全確保のための施設ガイドライン』

- 充填された冷媒の漏えいに対する安全確保のための空調システム選定と施工及び換気などの施工側の対応について規定されていますが、安全対策装置の設置が必要となった場合、**継続してご利用いただくため定期点検を実施していただく必要があります。**

Point ご使用されている方がご対応いただくこと

① 漏えい検知器の交換 (定期的)

漏えい検知器とは、空調システム内を流れる冷媒が漏えいした際に検知するためのセンサーであり、定期的な交換が必要です。(一般的には5年に1回以上)

*漏えい検知器の交換周期、搭載されている場所はメーカー・機種によって異なります。

② 回路検査 (1回/年)

回路検査とは、安全装置が適切に動作することを定期的に確認するための検査であり、1年に1回以上の実施が必要です。

*回路検査の方法はメーカーによって異なります。

各メーカーの取扱説明書をご確認いただく、もしくは各メーカーへお問い合わせください。

発信元

JRAIA 一般社団法人
日本冷凍空調工業会
The Japan Refrigeration and Air Conditioning Industry Association

<https://www.jraia.or.jp/>

2026年7月初版